

# 第2期岐阜市国民健康保険データヘルス計画（概要版）

## 目標

健康寿命の延伸・医療費の適正化

## 計画の期間・評価

平成30年度～平成35年度

平成32年度に中間評価を実施。平成35年度に、次期画の策定を円滑に行うための準備も考慮に入れて評価を実施。

## 背景

- 健康や医療に関する情報を活用して被保険者の健康課題の分析、保健事業の評価等を行うための基盤整備
- 国民健康保険の財政運営の責任主体は都道府県、保健事業などの医療費適正化の主な実施主体は市町村
- 新たに保険者努力支援制度が創設

### ＜保険者努力支援制度＞

医療費適正化や健康づくりに取り組む自治体等へのインセンティブ制度。  
平成28年度から、市町村に対して特別調整交付金の一部を活用して前倒しで実施。（平成30年度から本格実施）  
国は、この制度の評価指標について、毎年の実績や実施状況を見ながら進化発展させるとしており、現在は、糖尿病等の重症化予防や保険料収納率の実施状況を高く評価している。

## 第1期計画の評価

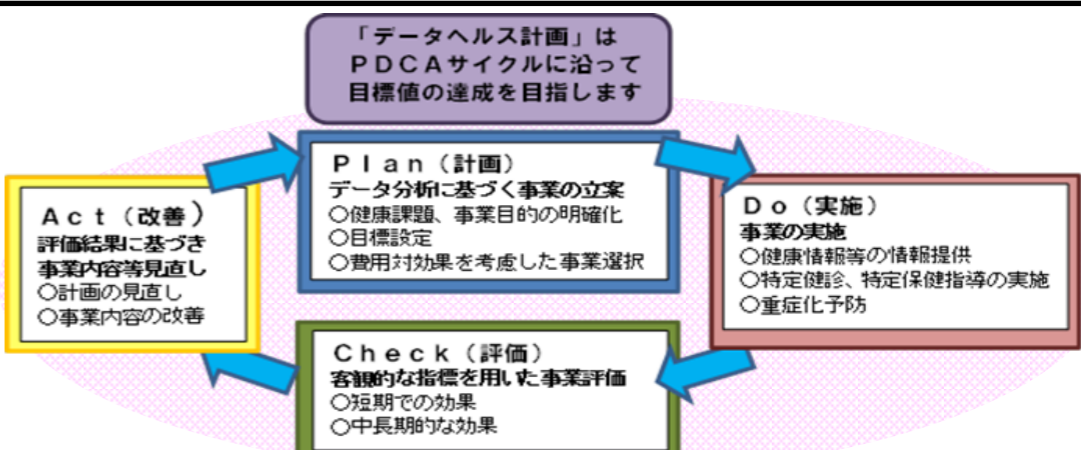
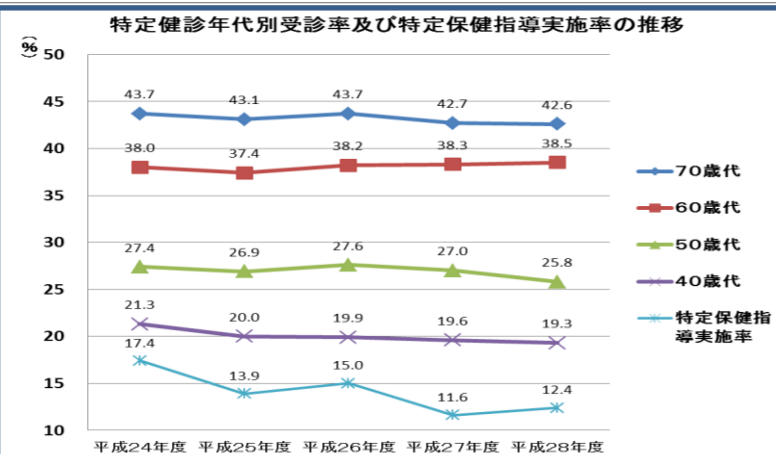
＜重点取組＞特定健診・特定保健指導実施率の向上

＜取組内容＞

- ・40歳到達者への健診自己負担金無料化
- ・インセンティブを付与する等の取組み

＜結果及び課題＞

- 特定健診受診率は微増、特定保健指導は低迷
- ・高血糖やメタボリックシンドロームに関する有所見者が増加



## 第2期計画における健康課題の明確化

- 【疾病の特徴や医療費の状況】・入院の費用割合が増加・虚血性心疾患が多い。
- 【要介護認定者の特徴】・虚血性心疾患、糖尿病の有病者が多い。
- 【特定健診・特定保健指導の現状】
- ・特定健診受診率が目標に未到達・特定保健指導実施率の低迷
- ・メタボリックシンドローム該当者及び予備群、脂質異常症、高血圧、高血糖の該当者が多い。

保険者努力支援制度 評価指標		第2期計画 保健事業	目標
共通①	特定健診・特定保健指導の実施率、メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率 ○特定健診受診率 ○特定保健指導実施率 ○メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率	・特定健診・特定保健指導の実施 ・受診勧奨等	特定健診等計画 特定健診受診率 34.7% → 60% 特定保健指導実施率 12.4% → 60% 特定保健指導対象者の減少率 11.2% → 25%
共通③	糖尿病等の重症化予防の取組の実施状況 ○重症化予防の取組の実施状況	・糖尿病性腎症重症化予防の取組 医療受診が必要な者には適切な受診への働きかけ、重症化予防のための保健指導を実施	中長期 虚血性心疾患の総医療費に占める割合の減少 2.26% → 減少 虚血性心疾患に罹患した新規患者数の減少 2,258人 → 減少 糖尿病を保有している新規透析患者数の減少 65人 → 減少
固有④	地域包括ケアの推進に関する取組の実施状況 ○国保の視点からの地域包括ケア推進の取組	・虚血性心疾患重症化予防の取組 ・地域包括ケアに係る取組 健診・レセプトデータを活用し、ハイリスク対象者を抽出して保健指導を実施	データヘルス計画 中期 メタボリックシンドローム・予備群の割合の減少 27.8% → 25% 健診受診者の高血圧者の割合の減少（140/90以上） 24.4% → 20% 健診受診者の脂質異常者の割合の減少（LDL140以上） 28.1% → 24% 健診受診者の糖尿病者の割合の減少（HbA1c6.5以上） 6.9% → 6%
共通⑤	加入者の適正受診・適正服薬を促す取組の実施状況 ○重複服薬者に対する取組	・重複受診者・重複服薬者への適切な指導	短期 糖尿病の未治療者を治療に結びつける割合の増加 15.0% → 増加 糖尿病の保健指導を実施した割合の増加 21.7% → 増加
共通⑥	後発医薬品の使用促進に関する取組の実施状況 ○後発医薬品の促進の取組 ○後発医薬品の使用割合	・後発医薬品の使用促進	
固有②	医療費の分析等に関する取組の実施状況 ○データヘルス計画の実施状況	・データヘルス計画の策定と進捗管理	

（評価指標は、計画に関係する項目のみ抜粋）

※中長期的目標は計画の最終年度に、短期的目標は単年度に評価を実施する